

新人大大会京都府予選府大会における新型コロナウイルス対策ガイドライン

京都府高等学校体育連盟  
バスケットボール専門部

本専門部では、2020年9月10日にJBAより発表された「JBAバスケットボール活動再開ガイドライン（第2版）」及び11月12日に内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室より発出された「来年2月までの催物の開催制限、イベント等による感染拡大防止ガイドライン遵守徹底に向けた取組強化等について」に準拠、並びに11月13日にJBAから発出された「ウインターカップ2020新型コロナウイルス対策ガイドライン」を参考に、以下のように感染防止対策を講じます。

1 大会運営全般について

- (1) 大会主催者は本部に感染対策責任者を設置する（会場主任が兼任）。
- (2) 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、保健所と予め検討しておく。
- (3) 万が一感染が発生したときには、保健所からの要請に従い、感染拡大防止に協力する。
- (4) 消毒等感染防止に必要な物品は、本専門部が準備する。
- (5) 1月16日、17日、23日の全会場と1月30日の高校会場は無観客試合とする。会場に入ることができるのは、顧問・コーチ・学校関係者・選手及び大会役員のみとし、報道関係者等は大会本部の許可を得るものとする。1月24日の横大路体育館会場、31日の山城総合運動公園体育館会場は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、今後判断する。
- (6) チーム及び選手の参加可否は所属校長が判断する。

2 会場運営について

- (1) 試合間にゆとりを持たせ、選手・チーム関係者は基本的に完全入れ替えとする。審判、大会役員、TO・CKなど生徒補助員も最小限の人数で行う。TO・CKの担当は、大会スケジュールのとおりとする。ハーフタイムアップはなしとする。
- (2) 会場はこまめに換気をする。
- (3) 各試合終了後、試合が終わったチームは、それぞれ自ベンチ及びその周辺の消毒を行い、速やかに退場する。TO・CKの椅子・用具等の消毒は、担当したチームが業務終了後に行う。必要に応じて手袋を使用する。
- (4) 施設内（出入り口、トイレ、ウイルスが付着した可能性のある場所等）については、大会役員で消毒を行う。トイレ・手洗い所等に消毒液を準備し、手指消毒を喚起する。
- (5) 入退時間を指定するなど、入退館に時間差を設けるとともに、待合場所等での密集を回避する。
- (6) ベンチ等は隣席との身体的距離を確保できるように設置し、ロビー等でもグループ間は一席（立席の場合1m）空ける。

3 参加者について

- (1) 参加者は、常時マスクを着用する。試合中も、ベンチにいるときは体調に留意しながらできるだけマスクを着用する。TO・CKについてもマスク等、顔を覆うものを着用する。
- (2) 大声を出しての応援は禁止する。
- (3) その他ソーシャルディスタンスの確保、手洗いの励行など、基本的な衛生エチケットを遵守すること。ごみの持ち帰りを徹底し、特に使用後のマスク等を会場のゴミ箱に捨てたりしないこと。昼食

時などマスクを外すときは、できるだけ会話をしないように心がける。

- (4) 試合前後または試合中に、握手、ハイタッチなどの接触は避ける。
- (5) 水分補給を行うときは、各自のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回し等を行わないようにすること。
- (6) 参加者の行動記録の把握のため、以下の書類を準備すること。

①「健康チェックシート」(様式1) 参加者全員

大会前 2 週間における体温及び健康状態他必要事項を記入する。顧問がチーム関係者全員分(顧問・コーチ・学校関係者・選手・トレーナー)を番号順にまとめて提出する。大会役員が当日受付で記載内容を確認するとともに、当日体温を検温し記入した後、チームに返却する。

他団体の協力審判、チーム引率のない審判や大会役員、メディア関係者等については、審判委員長もしくは専門委員長にデータを送信するか、会場主任が当日携帯で写真をとるなどしてデータで保存する。

②「健康チェック一覧表」(様式2) チーム関係のみ

試合 4 日前～試合当日の健康状態を各チーム顧問が記入し、大会本部に 1 部提出する。当日体温は受付で大会役員が検温し、記入する。少なくとも 3 ヶ月保管とする。

※様式はメール添付していますが、高体連HPからもダウンロードできるよう準備します。

個人情報大会本部に、また状況によっては保健所等に提出する可能性があることは、事前に保護者から同意を取っておいてください。

- (7) 各会場とも顧問は受付時に①②を提出する。選手は顧問の指導のもと、「健康チェック一覧表」(様式2)の順番に整列し、検温チェックを受けてからまとめて入館すること。

遅れてくる生徒がいるときは、その旨を大会役員に連絡する。到着次第、顧問が生徒とともに大会役員に報告してから入館させる。

- (8) 大会各会場でのタイムスケジュール ※別紙参照【会場ごとに競技委員が作成、顧問に送付】

- (9) 新型コロナウイルス感染が疑われる体調不良への対応については、JBAガイドライン第2版 P12 を御参照ください。(以下抜粋)

【体調不良の基準】

1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
2. 重症化しやすい方(高齢者や基礎疾患がある人)で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
3. 比較的軽い風邪が続く。

発症から数えて 2 日および症状消失後より数えて 3 日間は活動を休むことを推奨します。

【上記の目安に該当する体調不良者が出た場合のチーム活動について】

発症の前日または前々日までチーム活動があった場合、体調不良者(陽性か陰性かが判断できない)と接触しているため、チーム活動を最低 2 日間行わないことを推奨します。

4 その他

- (1) 感染拡大やチーム参加状況により、大会途中でも大会中止とすることがあります。
- (2) 観戦応援にきてくださる学校関係者(管理職)も健康チェックシート(様式1)が必要です。もしくはそれに代わるものをご持参いただくようにしてください。
- (3) 記載内容については、各校顧問から学校関係者、生徒や保護者に連絡し、遵守するようにしてください。
- (4) 試合 4 日前～試合当日において、感染または感染の疑いがある場合は、大会感染対策責任者(競技委員長(京都市立紫野高等学校 岩崎健太)、大会当日は会場主任)に御報告下さい。